

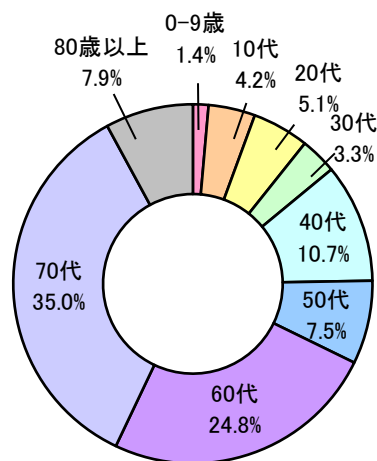
特別展 御即位30年記念「両陛下と文化交流—日本美を伝える—」

アンケート集計結果

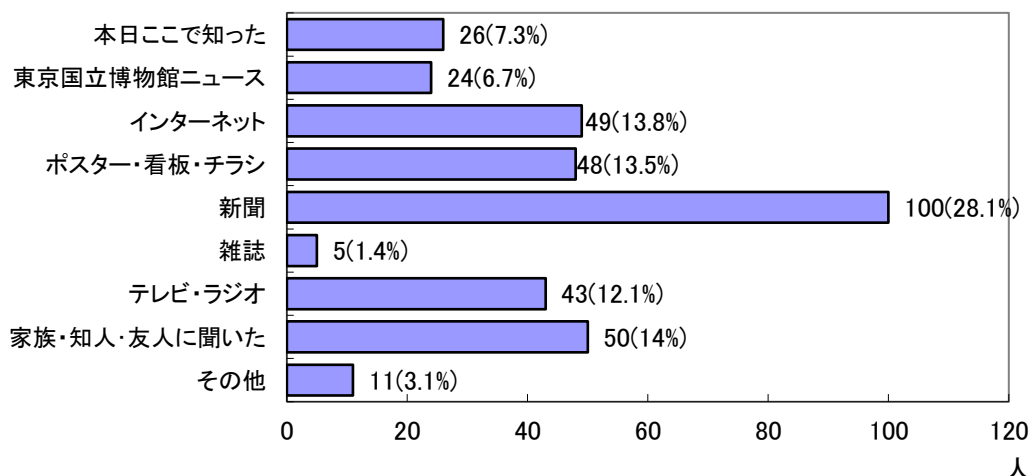
開催期間：平成31年3月5日（火）～平成31年4月29日（月）（50日間）

回答者数：235人（総入館者数：122,764人 アンケート回収率：0.19%）

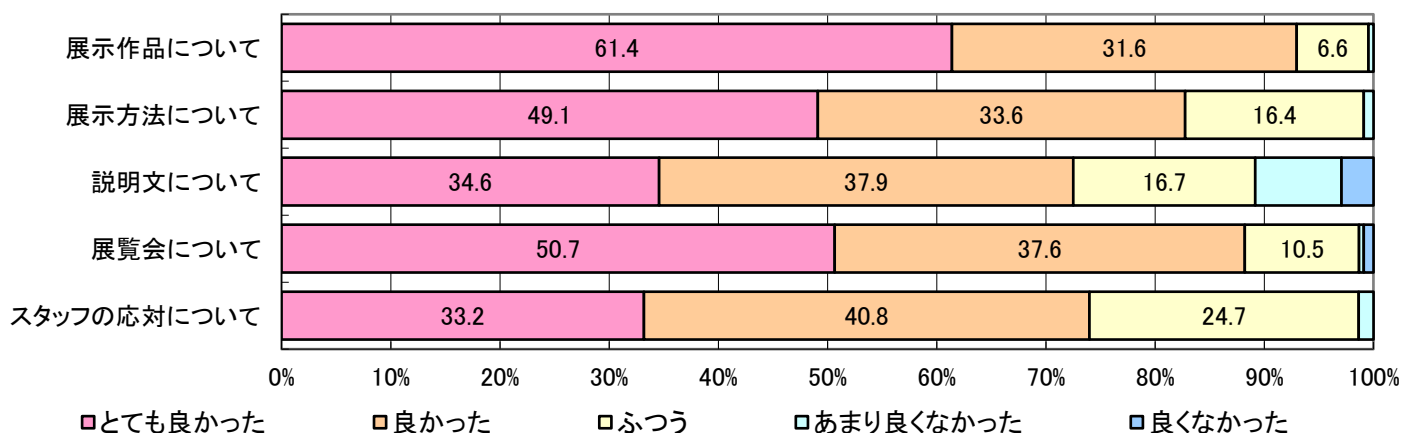
①アンケート回答年齢層



②認知経路（複数回答）



③展示に関する満足度



注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった
展示作品	0.4	0.0
展示方法	0.9	0.0
説明文	7.9	2.9
展覧会	0.4	0.9
スタッフの対応	1.3	0.0

(%)

④主な意見・感想

- ・天皇の退位に際し改めて皇室の歴史資料の豊富なこと、日本人のルーツを知る機会を得た。
- ・音声ガイドが聞き取りやすく、説明がわかりやすかった。
- ・特別展が本館で開催されたことに感謝する。
- ・展示室内に休憩の出来る椅子が欲しい。

本展は、「日本美を守り伝える『紡ぐプロジェクト』—皇室の至宝・国宝プロジェクト—」の一環として開催された特別展です。宮内庁が所管する皇室ゆかりの作品の中から、天皇陛下御即位の儀式に際して東山魁夷、高山辰雄が平成2年(1990)に制作した「悠紀・主基地方風俗歌屏風」や、天皇皇后両陛下が外国御訪問の際にお持ちになって紹介された作品などを展示したものです。

両陛下がお伝えになった日本文化を通して、海外の様々な人々が、わが国への理解と交流を深めてきました。御即位30年という記念すべき年に、両陛下が担われた文化交流についてご紹介した本展覧会には、12万人を超える方々に御覧いただきました。アンケートの結果、展覧会に対して88.3%の方から「とても良かった」「良かった」との好意的な意見をいただくことができました。その一方で、「展示室内に休憩する場所がほしい」「展示が少ない」とのご意見もいただきました。

今後も来館者の皆様よりお寄せいただきましたご意見・ご感想を参考に、観覧環境のより一層の充実に努めて参ります。